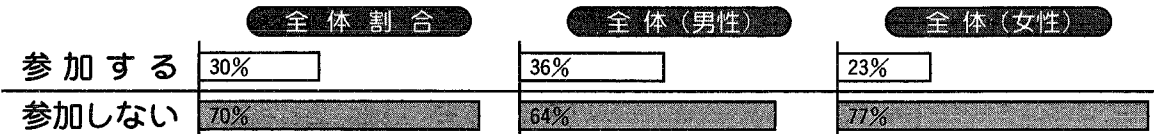


シルバー人材センターに関するアンケート結果について

町では平成12年12月に、無作為抽出で小須戸町在住の40歳以上の町民300名（男女各150名）を対象に、シルバー人材センターに対する、理解や参加意向を把握することを目的にアンケート調査を行いました。全体で159名（男80名、女79名）の方から回答をいただき回答率は53%でした。アンケート調査の結果は次のとおりです。

問1 あなたはシルバー人材センターができれば、会員として参加したいと思いますか？

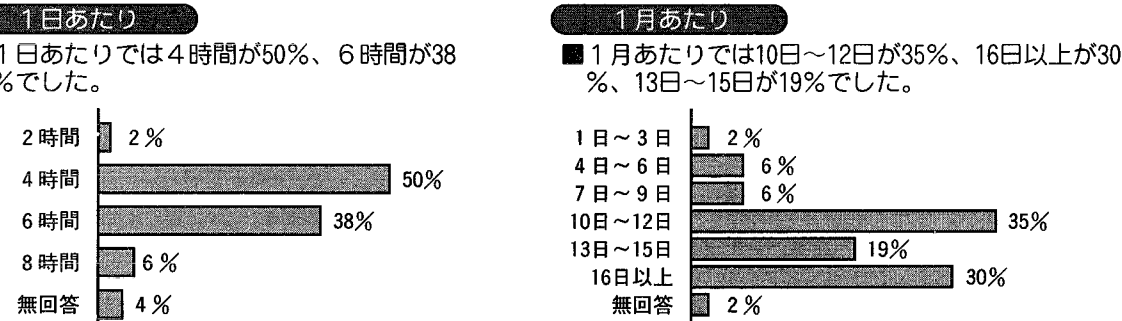
（回答者：男性80人 女性79人 計159人）



■全体で30%の方が参加希望でした。男性の方が参加意向が強いようです。

問2 「参加したい」に答えた方、働く場合どの程度の時間がよいですか

（回答者：男性29人 女性18人 計47名）

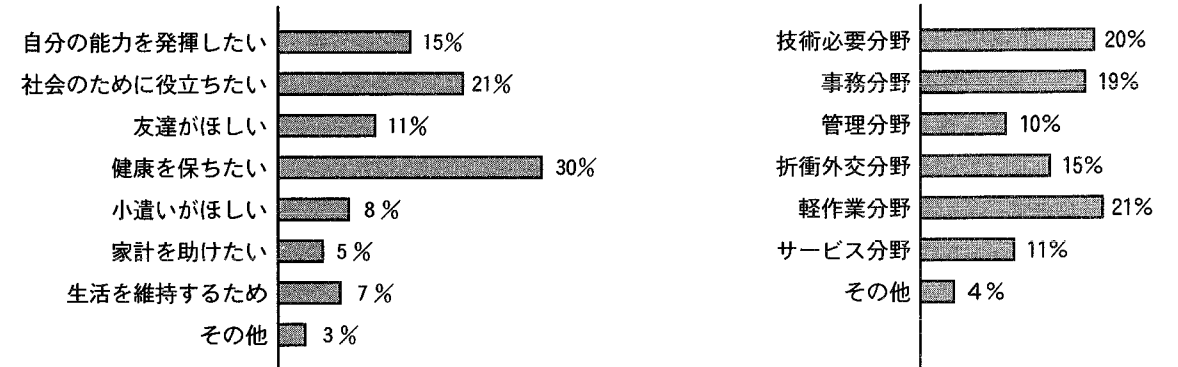


■男女差がかなりありましたが、1日あたり4～6時間、1月あたり10日以上働きたいと考えている人が殆どです。

問3 「参加したい」と答えた方にお聞きします

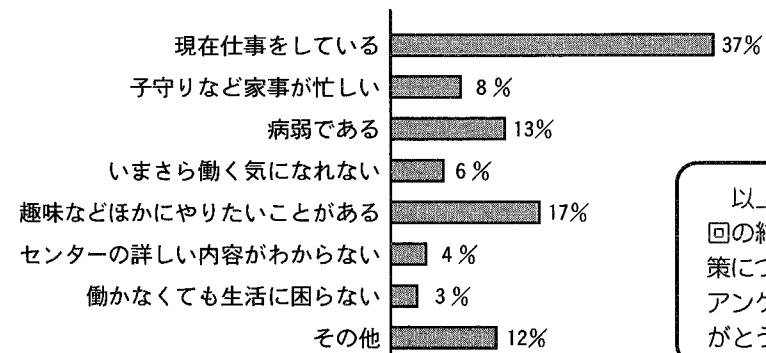
イ. 参加したい理由を選んでください

ロ. どのような仕事をしたいですか



問4 「参加しない」と答えた方にお聞きします

参加を希望しない理由を次の中から選んでください



以上のような集計結果になりました。今回の結果を参考に、今後も高齢者の就業対策について、検討していきたいと思っております。アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



バイク自賠責保険の取扱い開始について、〈郵政事業庁〉

平成13年4月から、郵便局の窓口で、原動機付自転車および250cc以下の二輪自動車の自動車損害賠償責任保険を取り扱うことができるようになります。詳しくは、お近くの郵便局までお問い合わせください。

2月 今月は「省エネルギー月間」です

毎年2月を「省エネルギー月間」と定め、広く省エネルギーの意識啓発をはかっています。97年の「地球温暖化防止京都会議」(COP3)で世界に約束した二酸化炭素など6%の削減は、私たちのこれからの生活に大きく影響してくるものであります。温暖化温度を1℃下げる心がけ、エネルギーの有効利用も地球環境の保全に貢献しているのです。

暮らしと電気安全



こたつを上手に安全に

雪まろげ

「雪まろげ」とは、雪を丸く固め雪の上を転がしていき、かたまりを大きくしていく遊びのことです。「雪まろげ」「雪丸め」などともいいます。君火をたけ よきもの見せん 雪まろげ 芭蕉

暗くなって、雪まろげをしてきた子どもたちがみんな引き上げたあとに、いくつもの雪の玉が残っているのを見て、「おきもの見せん」と言っていたでしょうか。雪まろげにはしゃいだ子どもたちの去ったあとの静けさが、伝わってくるような句です。

雪まろげして作ったものを二段に重ねて、木炭やたどんで目や口を付けると「雪だるま」になります。このほか、糸の先に木炭などを付けて雪を付着させて、雪のかたまりを大きくしていく「雪釣」という昔からの遊びもあります。

雪を丸く軽めに固めて、雪合戦をするのも、雪国の子どもの楽しみの一つです。靴紐を、むすぶ間もくる雪つぶて 中村汀女

子どもたちが、いたずらっぽいな表情で、雪が降っている寒いなかでも元気に遊んでいる様子が伝わってきます。雪とたわむれている子どもたちは、車などに注意が向かないかもしれません。「冬期における交通事故防止」として、ドライバーはスリップなどに十分気を付けて、スタッドレスタイヤなどの装着は忘れないようにしたいものです。また、車間距離はふだんより十分とって、スピードは控えめに。ライトは、早目に点灯するようにしましょう。